



## やっぱり失敗だった!?

# JR東日本 ジョブローテーション

この間、横浜地本管内では3名の仲間がキャリアプランに反した形でジョブローテーションとして駅へ異動をしてきた。私たちとしては、怒りのメッセージ行動や簡易苦情処理委員会を通じて問題点を訴えてきたが、ついに世間からもジョブローテーションの失敗例として「JR東日本」が取り上げられた。鉄道業の特殊性を無視し、労務管理・労組対策に躍起になり、効率化を優先、社員の声も聞かず強権的に人事権を濫用し続けた結果である。

### 失敗事例：JR東日本

2020年4月からジョブローテーションを導入したJR東日本では、社員の負担になると不満が噴出し、失敗例として話題になりました。現在でも、労働組合などが制度撤廃の声をあげています。JR東日本は、これまで駅員から車掌、運転士というサイクルを経て、本人の希望を優先して配属先を決めていました。

しかし、新たにジョブローテーションを導入したことで、車掌の経験を経ずに駅員からいきなり運転士に配置転換される事態に。スキル不足によるプレッシャーや希望もしない転勤などが原因で、うつ病になる社員が出てしまう結果になりました。

知らないと損をする転職術より

ジョブローテーションのメリットとして、複数部署の業務を経験する中で、自分の適性を見極められることや、会社全体に対して広い視野を身につけられることが挙げられていますが、デメリットとして「スキルや知識が中途半端になりやすいこと」が挙げられています。鉄道業は積み重ねてきた経験やスキルが重要視される職業であり、広く浅くやる職業ではありません。

また最近では、終身雇用を前提としたジョブローテーションの維持が難しくなり、制度を廃止する企業も出てきている現実もあります。

## 皆さんに訴えます!

今、会社が行っていることは世間から見ても非常識なことが多いです。経験重視な職業なのに「本人のキャリアプランを壊してしまうジョブローテーション」、JRを見ても東日本だけ「定期昇給に手を付ける」全てがおかしなことなのです。このまま声を挙げなければ、更に酷い状況になることは目に見えています。一度立ち止まって、世間の常識に目を向けてみてください。